

# 自由民主党会派の紹介



## 総務企画委員会

総務部、企画振興部、あきた未来創造部、選挙管理委員会、人事委員会などで取り扱う事項

 <b>委員長</b> 鈴木健太 青年局長 政務調査副会長 選挙対策局長 秋田市②	 <b>副委員長</b> 近藤健一郎 選挙対策局長 北秋田市北秋田郡④	 佐藤賢一郎 県議会副議長 組織副委員長 大館市④	 工藤嘉範 副幹事長 秋田市④ 議会運営委員長 政務活動費等検討会議委員	 住谷達 総務副会長 青年局長 湯沢市雄勝郡①
---	--	--	---	--

## 福祉環境委員会

健康福祉部、生活環境部で取り扱う事項

 <b>副委員長</b> 杉本俊比古 広報委員長 政務調査副会長 男鹿市②	 柴田正敏 選挙対策副局長 横手市⑤ 予算特別委員長	 竹下博英 総務会長 秋田市④ 議会運営委員	 宇佐見康人 組織委員 青年局長 秋田市①
--	---	---	---

## 農林水産委員会

農林水産部で取り扱う事項

 <b>委員長</b> 佐藤信喜 政務調査副会長 選挙対策局長 青年局長 能代市山本郡②	 川口一 財務委員長 党紀委員 鹿角市鹿角郡⑥	 小松隆明 党紀委員 大仙市仙北郡④ 監査委員	 鈴木真実 女性局次長 広報委員 南秋田郡① 議会運営委員 政務活動費等検討会議委員
--	--	--	--

## 産業観光委員会

観光文化スポーツ部、産業労働部で取り扱う事項

 <b>委員長</b> 鈴木雄大 副幹事長 政務調査副会長 青年局長 湯上市②	 <b>副委員長</b> 原幸子 組織委員長 女性局長 大仙市仙北郡④	 鈴木洋一 党紀委員長 会計監査 憲法改正推進副本部長 大館市⑧	 北林丈正 政務調査会長 北秋田市北秋田郡④ 議会運営委員 政務活動費等検討会議委員
---	---	--	---

## 建設委員会

建設部、出納局、監査委員、労働委員会で取り扱う事項

 <b>委員長</b> 今川雄策 政務調査副会長 青年局長 秋田市② 議会運営委員	 <b>副委員長</b> 加藤鉦一 県議会議長 党紀副委員長 由利本荘市④	 佐藤雄孝 幹事長 財務副委員長 仙北市④	 小山緑郎 財務委員 大仙市仙北郡①
---	---	--	---

## 教育公安委員会

教育委員会、公安委員会で取り扱う事項

 <b>委員長</b> 高橋武浩 政務調査会長代理 能代市山本郡② 議会運営委員	 <b>副委員長</b> 佐々木雄太 青年部長 広報副委員長 にかほ市②	 北林康司 会計監査 党紀委員 憲法改正推進副本部長 秋田市⑨ 議会運営委員 政務活動費等検討会議議長	 鶴田有司 県連副会長 横手市⑦ ※会派会長	 児玉政明 組織委員 青年局長 鹿角市鹿角郡①
---	--	--	--	--

## 自由民主党 秋田県支部連合会

〒010-0951 秋田市山王四丁目6-12  
電話 018-823-6377 FAX 018-865-1887  
http://www.jimin-akita.jp/ E-メール info@jimin-akita.jp

**Link** 県民と自由民主党会派をつなぐリンク

発行/令和2年7月31日  
ご質問、ご意見をお聞かせください。  
編集/秋田県議会自由民主党会派 政務調査会  
〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号【県議院内】  
電話 018-860-2040 FAX 860-2102

県民と自由民主党会派をつなぐ

# Link

リンク

みんなが輝く令和の秋田づくり  
～県民に安心、地域に希望、未来に責任～

2020.7 No.37



自由民主党会派 会長  
鶴田 有司

日頃より、秋田県議会自民党会派を力強く支えて頂いている、県民の皆様  
に厚くお礼申し上げます。

今般の新型コロナウイルス感染症の世界規模での厳しい状況は先の見え  
ない不安をあおり心穏やかではられません。今後も、地域の感染拡大防止  
及び経済の影響に関する情報収集を図り、一日も早く県民の皆様が元の  
生活を取り戻せることに、全力を尽くして参ります。

さて、秋田県では、令和2年度から5年間の県政運営の指針となる「第2期  
あきた未来総合戦略」が新たに策定されております。県議会自民党会派とし  
ても、産業振興による安定した人材確保や、スマート農業の展開による所得の  
向上と豊かな暮らしの実現、若者の県内定着・回帰、結婚・出産・子育ての  
支援、若者が活躍し誰もが安全で安心して生活できる地域を目指し、引き続き  
人口減少対策及び将来に夢を持てる秋田の創生を、秋田県所属自民党  
国会議員とともに積極的に取り組んで参りますので、皆様からのさらなる  
ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

# コロナに負けない!! みんなでがんばろう!

自民党秋田県連では、新型コロナウイルス感染症が、県内に及ぼしている影響について各業界等に聞き取り調査を行い、要望等を取りまとめ、知事に要望しました。感染の防止と経済的影響に対する支援に万全を期するよう、これからも自民党会派は一丸となってがんばってまいります。

## 要望内容

- 感染拡大防止に最善を尽くすこと
- 医療機関に関するハード・ソフト面の支援策
- 雇用者への休業補償の迅速な支援策
- 生活困窮者に対する緊急的な経済支援策
- 借入金の返済猶予と金利減免などの柔軟な対応
- 観光客減少による損失に対する支援及び収束後の大規模かつ長期的な観光振興支援策
- 農畜産物の消費落ち込みによる支援策及び生産農家への金融支援
- 木造建築の公共施設工事などの前倒発注の検討
- 住宅リフォーム推進事業の要件見直しなどの検討



新型コロナウイルス感染症対策に係る自民党県連金田勝年会長名の要望書を自民党会派の鶴田会長等三役が知事に提出。(R2.4.3)

- 公共工事に伴う工期延長及び経費増額などの柔軟な対応
  - 国及び県の緊急経済対策を迅速に進め県内経済の支援を行うこと
- など21項目

## 自民党秋田県連・常任総務会 (R2.5.21)



金田勝年会長がリモートで挨拶【力を結集して ガンバロー秋田!】

コロナ感染症拡大に配慮し、「書面による県連大会」実施を決定。

## 国による主な支援策

- **持続化給付金** (売り上げが減少した事業者への支援)  
上限 中小企業等200万円、個人100万円
- **雇用調整助成金** (休業手当に要した費用を助成)  
上限 15,000円 / 人 × 休業日数  
※休業手当を受けられない労働者には直接給付
- **特別貸付** (無担保)  
中小企業6億円、小規模・個人8,000万円  
※特別利子補給制度により無利子になる場合あり
- **特別定額給付金** (全市町村で5月中に給付開始)  
家計支援として1人10万円
- **持続化補助金** (テレワーク環境の整備等への支援)  
通常枠 50万円・2/3 特別枠 100万円・2/3 又は 3/4
- **家賃支援給付金** (7月14日からオンライン申請受付開始)  
上限：法人600万円、個人300万円  
対象：売上げ急減に直面する中小企業、小規模・個人事業者(フリーランス含む)等  
コールセンター：0120-653-930
- **休業支援金** (7月10日から「郵送で」受付開始) \*オンラインによる受付はシステム整備後  
上限：月額賃金8割(上限33万円)  
対象：事業主から休業手当を受け取っていない方  
コールセンター：0120-221-276

## 新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金の特例措置の拡大

◆雇用調整助成金：経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、雇用の維持を図るための休業手当等に要した費用を助成する制度

特例以外の場合の雇用調整助成金	新型コロナウイルス感染症特例措置 (4月1日から9月30日まで)
経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業主【全業種】
生産指標要件 3か月10%以上低下	生産指標要件を緩和 1か月5%以上低下
被保険者が対象	雇用保険被保険者でない労働者の休業も助成金の対象
休業の助成率 2/3(中小) 1/2(大企業)	休業の助成率 4/5(中小) 2/3(大企業)
休業・教育訓練の助成額の上限額は8,330円	解雇等を行わない場合 10/10(中小) 3/4(大企業)
計画届は事前提出	休業・教育訓練の助成額の上限額は15,000円
6か月以上の被保険者期間が必要	計画届は事前提出
短時間一斉休業のみ	被保険者期間要件撤廃
休業規模要件 1/20(中小) 1/15(大企業)	短時間休業要件緩和(一斉でなくても可)
教育訓練が必要な被保険者に対する教育訓練助成率 2/3(中小) 1/2(大企業)	休業規模要件 1/40(中小) 1/30(大企業)
加算額 1,200円	教育訓練の助成率 4/5(中小) 2/3(大企業)
出向期間要件 3か月以上1年以内	解雇等を行わない場合 10/10(中小) 3/4(大企業)
	加算額 2,400円(中小) 1,800円(大企業)
	出向期間要件 1か月以上1年以内

# 新型コロナウイルス感染症への対応

秋田県の取組

## ～医療提供体制の整備と経済対策～

新型コロナウイルス感染症への対応については、早期診断や治療法の確立、効果的なワクチンの開発等が実現するまでは、感染の拡大防止と社会経済活動の両立を図っていく必要があります。

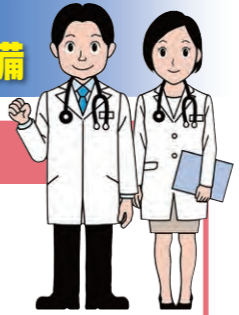
県では、再流行に備えた**感染拡大防止策と医療提供体制の充実・強化**とともに、休業や外出の自粛により大きな影響を受けている「**観光・宿泊**」や「**飲食**」分野を中心とした**経済対策**を速やかに実施してまいります。



自民党会派総会 ～予算案等について熱く意見を交わす～

## 対応1

### 感染拡大防止策と医療提供体制の整備



#### これまでの取組

- **コールセンターを設置して24時間体制で相談対応**  
TEL.018-866-7050
- **帰国者・接触者外来20か所を設置**  
※うち、仮設診療所7か所 (7月1日現在)
- **PCR検査体制を整備(3機関で1日最大100件)**  
(健康環境センター60件、秋田市保健所10件、総合保健事業団30件)
- **入院病床105床、軽症者等の宿泊療養施設16室(29人分)を確保**
- **医療機関や福祉施設へ衛生用品を順次配布**  
※県購入のマスク(約300万枚)等

## 新たな取組

感染が再び拡大した場合に備え、医療提供体制等の充実・強化に取り組みます。

- **PCR検査機器の整備**  
県内3か所(県北・中央・県南)に全自動遺伝子検査システムを整備  
※冬季に向けて、県内の1日あたり検査可能件数を300件に拡充予定
- **妊婦等を対象とした検査**  
希望する妊婦(里帰りを含む)等を対象に検体検査を実施
- **医療資材等の確保**  
医療機関等で必要な医療資材や感染拡大防止に要する設備を確保
- **居宅レスパイト※の提供**  
特別支援学校等の休業により長時間居宅で過ごす世帯を支援  
※家族が行う介護を一時的に代わることで家族に一息ついてもらうサービス
- **県立高校への冷房設備の設置**  
夏休み時期に授業を行うことに備え3年生の教室に設置  
(～7月末頃)
- **リモートワークの環境整備**  
事業所のテレワークやWEB会議の導入等を支援  
(上限50万円)
- **医療・介護職員への慰労金支給**  
感染リスクを伴う環境の中で職務に従事する職員等に慰労金を支給
- **感染拡大防止対策支援**  
医療機関・薬局等における消毒、患者の動線分離に要する間仕切り設置の対策を支援

## 対応2

### 県内経済を下支えする新たな経済対策



#### これまでの取組

- **県及び商工団体等に経営相談窓口を設置**
- **実質無利子(当初3年間)・無保証料の融資枠1,000億円を確保し、県内企業の資金繰りを支援**  
貸付限度額：3,000万円(7月からは4,000万円)  
貸付期間：10年(据置5年)以内
- **県の休業要請に応じた事業者に対する協力金の交付**  
《30万円(2施設以上有する事業者は60万円)》
- **緊急小口資金**  
上限20万円の特別貸付等
- **県税の徴収を一年間猶予(無担保、延滞金なし)**  
※収入が前年同期比20%以上減の場合

## 新たな取組

県では、宿泊・飲食に利用できるプレミアム券を発行します。県民の皆様には、県内各地の観光や食を楽しみながら、県内事業者を応援して下さるようお願いいたします。

- **プレミアム宿泊券 (40万枚)**  
5,000円券(販売額2,500円) 1人5枚まで  
利用期限 令和3年2月28日まで
- **プレミアム飲食券 (約533万枚)**  
1,000円券(販売額700円) 1人12枚まで  
購入申込 9月15日まで  
利用期限 令和2年9月30日まで
- **県産農畜水産物の消費拡大**  
秋田牛やじゅんさい等を学校や高齢者施設で使用する場合に食材費等を助成
- **公共交通等の活用促進**  
県民等が利用する貸切バス・タクシーの料金への助成等
- **県産品の販売促進**  
県産品のネット販売に係る送料等の支援、県産酒の頒布会の支援
- **芸術文化活動への支援**  
無観客公演等の開催、動画制作・配信への支援

(令和2年6月議会閉会時点の主な取組から)